

令和 5 年度 酒田市立酒田看護専門学校第 12 回生

卒業証書授与式

卒業生答辞—全文

寒さが和らぎ始め、日差しが日一日と暖かさを増し、春の訪れを感じる今日の佳き日にこのような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。

ただいま、学校長よりご訓辞を、ご来賓の方々よりご祝辞を賜り、卒業生一同こころよりお礼申し上げます。

思い起こせば3年前、私たち12回生は、「看護職に就く」という同じ目標を持ち、期待と不安でいっぱいになりながら入学式を迎えました。入学当初から、解剖生理学や看護学など、たくさんの専門知識を学ぶ講義があることに驚き、戸惑い、毎日の授業についていくことに必死でした。ですが、クラスメイトと下校のチャイムが鳴るまで看護技術の練習をしたり、一緒に課題に取り組んだり、ときにはディスカッションを重ね、自分の知識や考えの幅を広げていくことができました。

1年生で初めての臨地実習に臨みましたが、学内でのオリエンテーションのときから緊張していたことを昨日のこのように思い出します。この張りつめた気持ちをほぐしてくれたのは、患者さんの言葉、笑顔でした。自己紹介もしどろもどろで、看護技術も未熟な私たちに「ゆっくりでいいよ」「頑張って」と声をかけてくださった患者さんに助けられ、私たちは臨地での学びを進めていけたと思っています。この体験は、何もできない自分の未熟さを痛感するとともに、看護師は人の命を預かる職業であることの責任を果たすためにも、たゆむことなく日々勉強に励まなくてはならないと、身に染みて感じました。

そして、2年生で行った「宣誓式」では、自分の理想とする看護師像を宣誓することで、看護の専門職業人として歩むことの責任を改めて認識できました。

3年生になってからのこの1年は、本当にあっという間でした。臨地実習はもちろん、ケーススタディ作成、就職・進学活動、そして国家試験対策と、慌ただしく毎日が過ぎていきました。そういう中で、自分の目標とする看護師像が揺らぎ、看護師になることに自信が持てなくなることもありました。ですが、そんなときは一緒に悩んだり、迷ったり、時には助言をくれたり…とそばで支えてくれる12回生の仲間がいました。12回生の仲間がいてくれたおかげで、看護師になるという目標を見失うことなく、今日の日を迎えることができたと思います。

そして、私たちに多くの学ぶ機会を与えてくださった教職員の皆さま、非常勤講師の皆さま、実習する場を提供してくださった各施設の皆さま、そして関わらせていただいた患者の皆さま、入所者の方々、本当にありがとうございます。そして、家族。家族には「ありがとう」という言葉だけでは足りないくらいの感謝の気持ちでいっぱいです。また、子どもを育てることは並大抵のことではないと臨地実習で学びました。私たちのことを最後まで信じ、そばで見守り、支えてくれたことにとても感謝しています。

13 回生・14 回生の皆さんはこれからの学校生活や臨地実習などで、楽しみと不安で胸がいっぱいになっていることだと思います。看護の道を歩んでいく中で「自分の看護が分からない」と思い悩む日が来るかもしれません。そんな時は看護師になりたいと思った初心を思い出して、勉学に励んでほしいと思います。知識は誰からも奪われることのない財産です。それぞれが考える看護師像に向かって周りの仲間と支え合い、日々邁進してください。13 回生の良いところは、明るく笑顔で困難を乗り越えられる所であう。14 回生の良いところは、計画性がありどんなことでも真摯に取り組めるところです。13 回生・14 回生で力を合わせれば、さらに良い学校になると思います。これから先も学校の伝統を守り、発展させていって下さい。

そして、12 回生の皆さん。3 年間はあっという間でしたね。私も時の流れが早いことに驚いています。12 回生は、努力を惜しまず、人のことを自分のように考えられる優しい人ばかりで、私は 12 回生の一員であったことが誇りです。そんな皆さんと出会い誰一人欠けることなく、みんなで学び続けたこの 3 年間は、私にとって宝物でありかけがえのない時間です。私はリンカーンのこの言葉が好きです。「あなたが転んでしまったことに関心はない。そこから立ち上がることに関心があるのだ。」これからそれぞれの道を歩んでいく途中で、困難にぶつかり嫌になって逃げたくなる時もあるでしょう。そんな時はこの言葉を思い出してほしいと思います。大事なものは挫折・失敗したものごとくに囚われるのではなく、そこから這い上がったときに人は本当の意味で成長します。たくさん経験して学びを深め、看護の専門職業人として、また人として成長できるように日々努力を惜しまず頑張っていきましょう。

私たちが 3 年間多くのことを学び、そして今日卒業式を迎えることができているのは、多くの方々のご指導・ご支援があったからだ感謝しています。最後になりますが、ご来賓の皆さま、校長先生はじめ教職員の皆さま並びに在校生の皆さまのご健康とご多幸をお祈りするとともに、私たちの母校となる酒田市立酒田看護専門学校のますますのご発展を心より祈念し、答辞とさせていただきます。

令和 6 年 3 月 2 日

酒田市立酒田看護専門学校

第 12 回生 卒業生代表 今田葵

